

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和6年12月3日
クラス名(年齢)	たんぽぽ (2 歳児)
年間テーマ	音の探究活動

1、活動テーマ

<テーマ>

音の探究活動

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・小さいとんかちで、いろいろな素材を叩いてみて、音を聞いたり叩いた時の感触を楽しめるようにした

2、活動スケジュール

・小さいとんかちでいろいろなものを叩いてみる

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・小さいとんかち ・模造紙の芯(長くて硬い紙製) ・菓子折りの箱
 ・座布団 ・粉ミルクの空缶 ・鈴 ・タンブリン

4、探究活動の実践

<活動内容>

・小さいとんかちを1人ずつ手渡し、まずは模造紙の芯や、菓子折りの箱、座布団、粉ミルクの空缶を用意した。子どもたちは自然にそれらを叩き始めた。叩いたときの感触や音の違いを楽しんだ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・模造紙の芯、菓子折りの箱、座布団、粉ミルクの空缶などを自由に叩いたときの感触はひとしきり味わったのだが、やはり響く音の方が楽しいと感じたようで、次第に粉ミルクの空缶を立てて、空缶の底を夢中になって叩き始めた。コン、コンと音が響くことと、心地良い空缶の硬い感触が良くて、たくさん叩いていた</p> <p>・そのうち空缶の底だけでなく、側面も叩き始めた。側面をとんかちで叩くと、カン、カンとまた違う音がした。それに気付くと側面を皆で叩いて音を出し、今度は空缶の内側を叩いてまた違う音を出して楽しむ子もいた。やはり音が出るものが良いのかと思ったので、楽器の鈴を菓子の空箱に入れてみた。何人もの子どもが叩きにきたが、ほとんど音が出ずに、すぐに飽きてしまった。次にタンブリンを出すと、タンブリンをとんかちで叩き始め、パンパンシャンシャンという音を聞いて楽しんだ</p>	  

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・とんかちでいろいろな素材を叩いてみて、たたいた時の感触と、どんな音が出るのかを知って楽しむ事が出来た。しかし子どもたちは、ある程度硬いもので、よく音が響くものを好むということが分かった